

正しく理解しよう

敵は炭素。内燃機関ではない

**エネルギーを『つくる』『運ぶ』『使う』
全てでCO2削減**

6月 岸田総理ご訪問



撮影：三橋仁明

9月 経団連モビリティ委員会

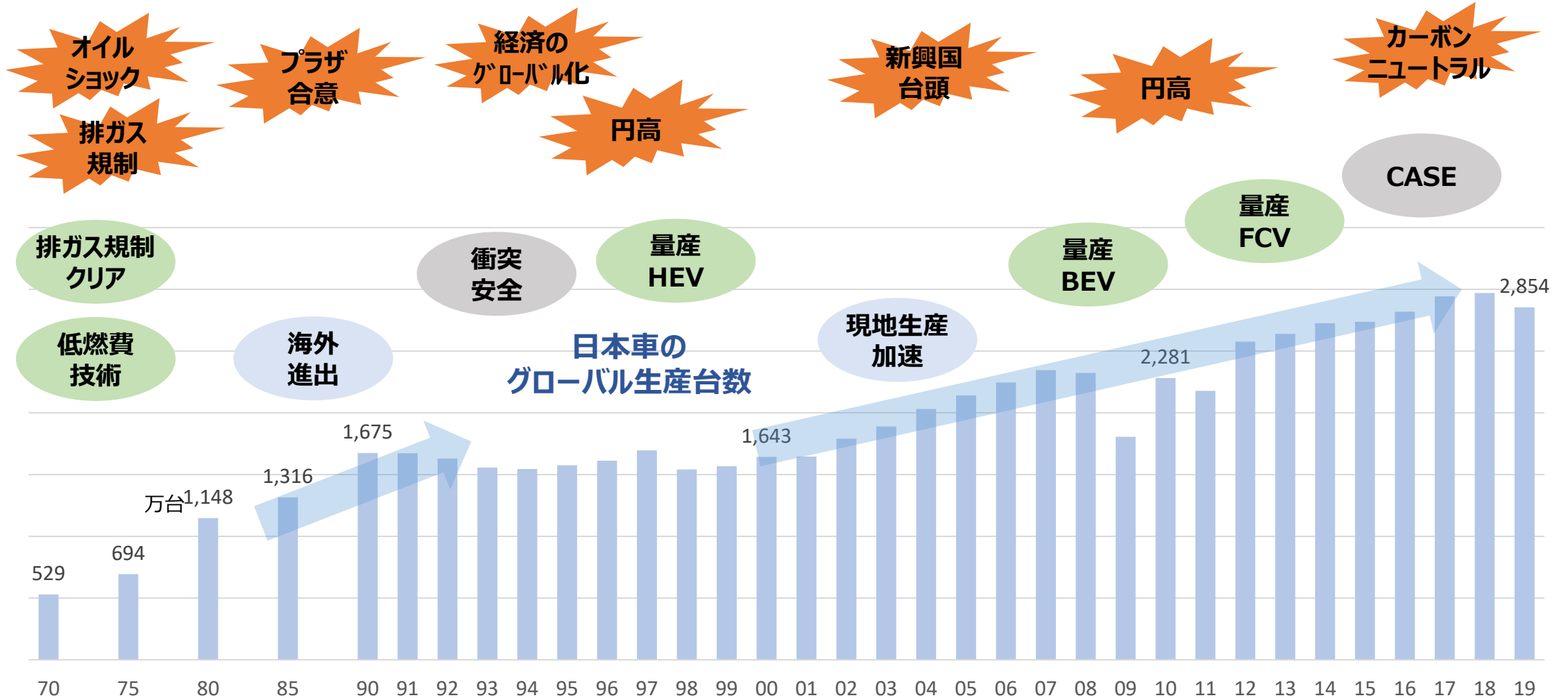


11月 政府とのモビリティに関する懇談会



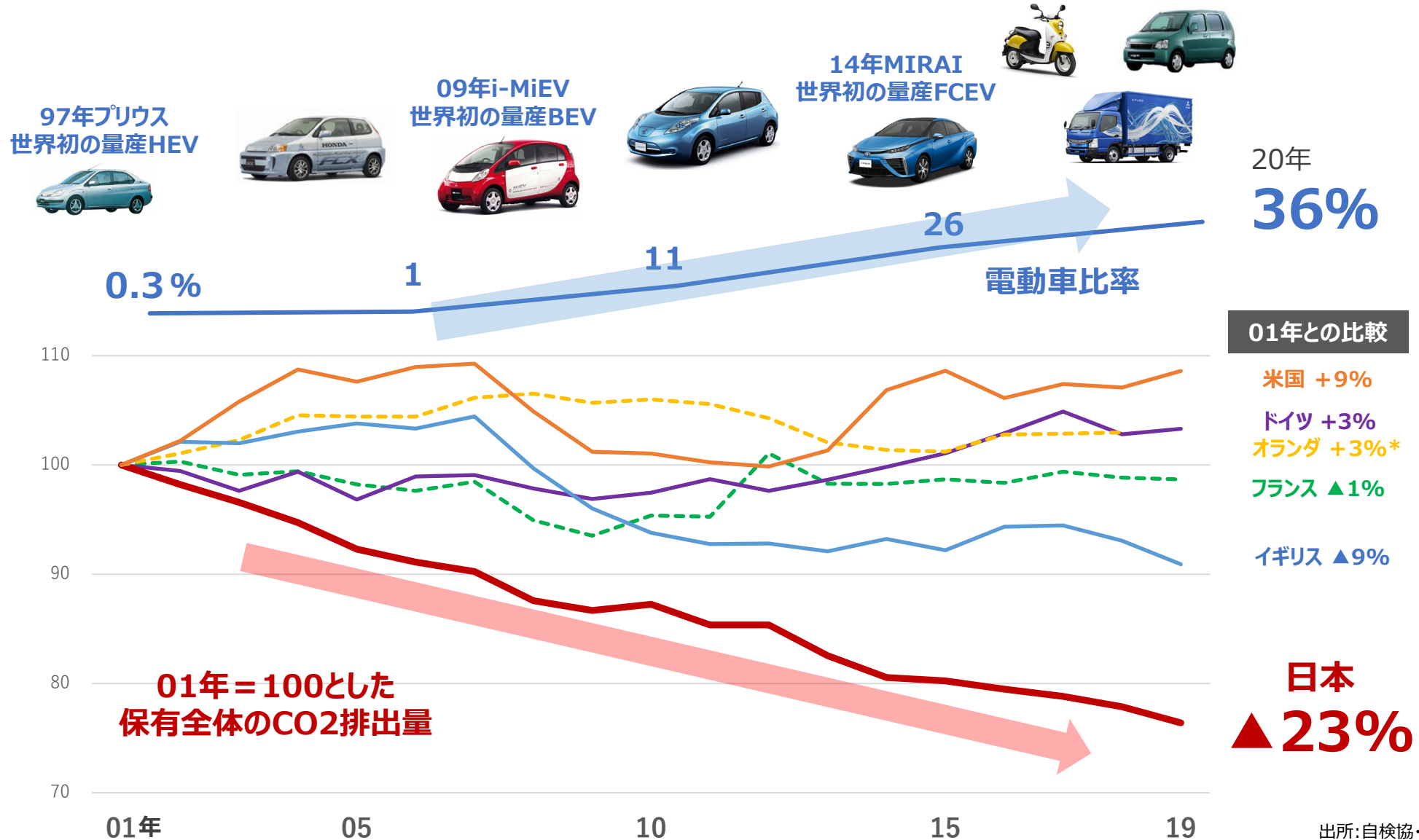
自動車産業の革新

- 自動車産業は、オイルショック、円高、グローバル化、カーボンニュートラルなどの時代の波に先んじて、低燃費技術、海外市場開拓、電動化で世界をリード



過去20年の自動車CO2削減実績

・軽自動車も含めた低燃費技術開発、世界に先んじた電動車ラインナップ拡大・普及努力により、過去20年でCO2を▲23%と大幅に削減。世界をリード



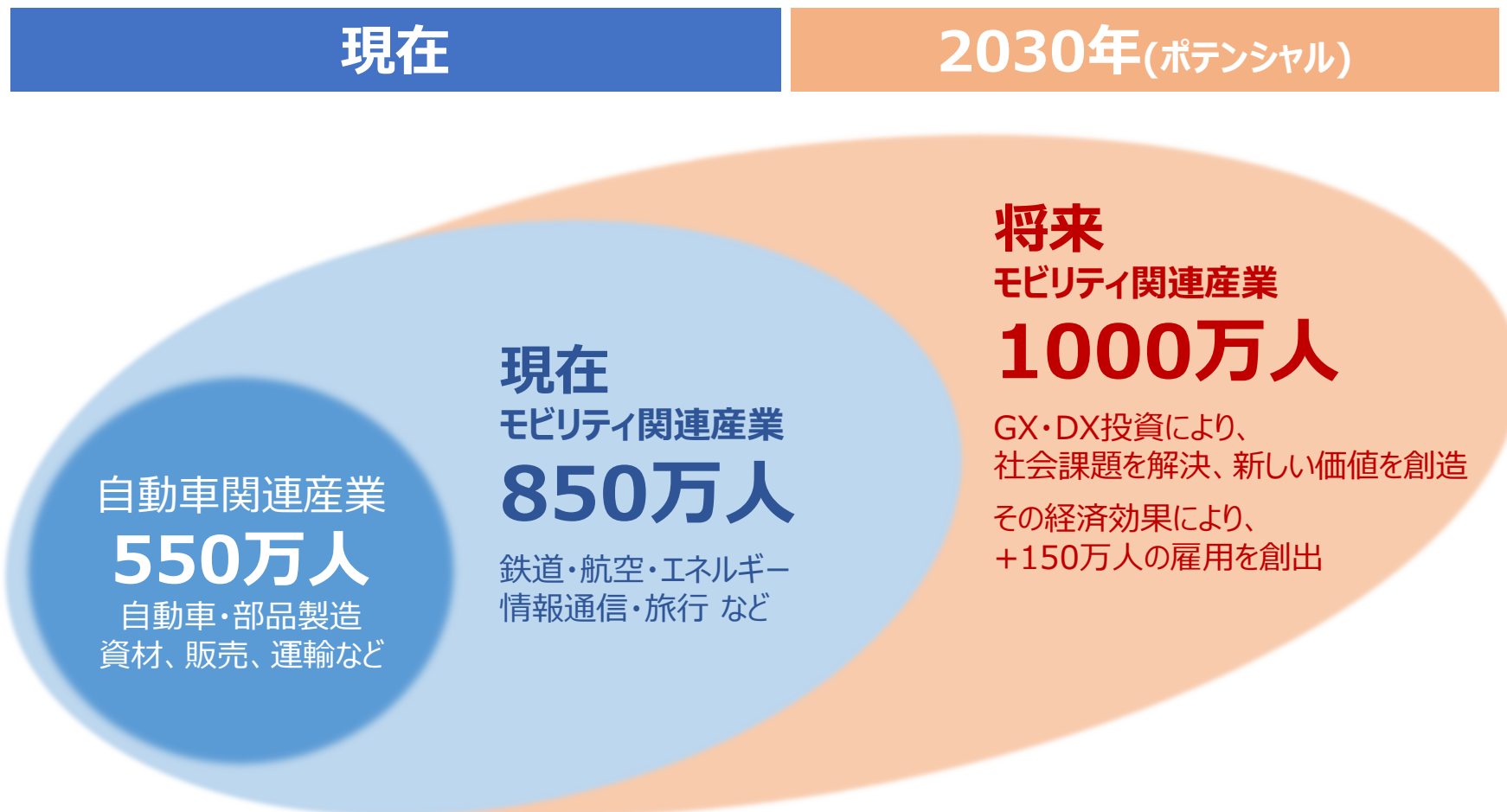
自動車産業の過去～現在の貢献

- ・80年～現在で、自動車産業は売上(出荷)、納税を大幅に拡大。獲得外貨も倍増。
長期にわたり約550万人の雇用を維持

	過去		現在
	1980年	2000年	
売上 (出荷額)	21兆円	40兆円	約60兆円
納税	8兆円	15兆円	約15兆円
外貨獲得 (貿易黒字)	8兆円	9兆円	約15兆円
雇用	(統計なし)	537万人	約550万人

自動車産業550万人の拡がり

◆ 自動車が「モビリティ産業」に拡がることで、将来的には仲間が1000万人にも拡大する可能性



日本の競争力の源泉

技術

技能

人財

自動車産業は、経済・雇用の大黒柱

モビリティは、新しい資本主義の中軸

2023年の東京モーターショー

「JAPAN MOBILITY SHOW」